

高山駅周辺地区まちづくり協議会 第11回部会 議事録要旨

日 時 平成22年12月16日(木) 13:30~15:00

場 所 高山市役所 中会議室

出席委員 10名

《基盤整備部参事挨拶》

《部会長挨拶》

4. 議事

東西駅前広場について

事務局より説明

《意見等》

委 員：送迎バス乗降スペースについては好ましくないと思う。送迎の乗り降りする所であるから道路性をなくしていただきたい。県道であるので高山土木との協議もあるが、「路面に色を塗る、看板を立てる、屋根を作る」など乗降スペースは道路ではないとはっきり区分していただきたい。

委 員：送迎バス乗降スペースがロータリーの中では他の人に迷惑をかける。平成19年度まちづくり協議会案に賛成する。また、自由通路を延長する案もいいと思う。

事務局：自由通路の延長案は費用が高くなります。(デメリットがある。)

部会長：タクシーと一般車両はゴチャゴチャするので、うまく分けるといいと思う。一般車両は長く止めると思われるので、動線を分けた方が安全と思われる。

委 員：平成19年度協議会案が最適と思う。当社としては送迎バス乗降スペースを1台分だけでも確保していただきたい。地域路線が140台/日、のらまいカーと高速を含めると350台/日に発着している現状である。

委 員：濃飛バスさんについては、駅前(濃飛バスセンター南側)に場所が確保されているのだから送迎バス乗降スペースに1台分入れるのはどうかと思う。

事務局：差し出がましい発言ではありますが、平成19年の検討部会では野戸委員や濃飛バスの前委員さんとの席上で、送迎バス乗降スペースに含めないとの方向で協議した経緯がある。今後公安や警察にも意見を聞きながら検討したいと思う。

交番・観光案内所等配置案

委 員：事務局案に賛成する。交番位置については会計課が担当であり、署内でも報告を受けている。

部会長：交番については車両の出入りがあるので物理的に事務局案の位置かと思う。

観光案内所は西口にはないのか？

事務局：交流センターの2階に情報発信スペースを設ける案がある。

委員：駐輪場は大きいのではないのか？

事務局：現在の駐輪場と同じくらいであり、能力的には200台収容のものである。

また、平屋建てと想定している。現在、高校生は民間駐輪場をも借りているのでそれらを圧迫することはないと思う。

委員：駅前広場は雨や雪のことを考えキャノピー等の屋根の設置を考えていただきたい。

委員：西口に駐輪場はないのか？

事務局：駅西立体駐車場の交流センターの1階に設ける案がある。

委員：東口に路線バス、送迎バス、タクシー、一般車両の4種類はやはり危険だと思う。例えば東口はタクシーを中心に、西口は送迎バスを中心にするなど分けた方がいいと思う。

委員：今までの協議の流れの中で東西の両方に分配することとしている。旧高山の案だけでなく、現在の奥飛驒や丹生川からの送迎を含めて考えている。

部会長：東口の一般駐車場と西口の一般駐車場とでは西口が定着するのではないのか。

委員：駐輪場のスペース周辺は自転車で走れないがその点はどうか？

事務局：モラルもあり自転車から降りると思う。駐輪場は東側の斐太高校の利用が多く、4-1道路（濃飛バス西側）から6-1道路を通ることを想定している。

部会長：高校生は普通電車を利用していることから観光客との接触は少なく安全であると考えている。

委員：駅前広場には屋根はあるのか？

事務局：屋根や融雪、植栽といったものは必要と考えている。整備する段階で協議したいと思う。

委員：ゆったりとしたスペースはあるのか？

事務局：東西ともそれぞれのロータリー北東部で設けている。

委員：貸切バスは送迎バスと一緒に考えなのか？

事務局：路線バス、送迎バス、タクシー、一般車両の4種類からすれば送迎バスにあたると思う。本日は駅前広場のレイアウトについてであり、運用については今後の協議とさせていただきたい。

都市計画道路花里本母線の整備について

委員：視覚障がいの方がJRアンダー交差点を利用されているが、音声案内はつかないのか？将来的に考えていただきたい。

事務局：周辺住民の影響もあると思うが、担当課に報告する。

《閉会》